



大山街道

ごみゼロ
フェスティバル

2024.6.29 金田優(カネダ ユウ)

開催予定場所



3つのアプローチ

「体験」から

「食」から

「お話」から

体験

BINGOで 街のごみ拾い



体験

ワークショップ体験

ペットボトルを使った ビーズストラップ作り



中村洋太郎さん

オーシャン太郎代表理事

出典:<https://ocean-taroh.or.jp/about-us/>

食

サステナブルな食材を使用した
お料理の提供



食

実現すれば... 川崎市初！

MEGLOOの導入



MEGLOO

出典:<https://megloo.jp/>

捨てるから、



めぐるへ。



食

MEGLOO回収 ごみ分別ステーション

混ぜればごみ、分ければ資源



お話

ゲストスピーカー

街ごみと海ごみの関係



相良菜央さん

アイサーチ・ジャパン
代表理事

出典:<https://icerc.org/>

お話

ゲストパフォーマー

紙芝居 『Crystal Blue』



紙しばいや
もっちいさん

出典:

<https://kamishibaiya-mochi.amebaownd.com/>

お話

ゲスト解説者

ウミガメの誤食について



獣医師
北山知代さん

認定NPO法人
エバーラスティングネイチャー

出典:<https://www.elna.or.jp/>

お話

映画上映

マイクロプラスチックストーリー



監督

佐竹敦子さん

NPO団体

カフェテリアカルチャー
メディアディレクター

出典:

<https://www.cafeteriaculture.org/team.html>

準備すること・もの

- 会場／ゲストの手配
- 告知関連：フライヤー、ポスター
- ごみ拾い参加の事前申し込みフォーム
- ごみ拾いスタート／ゴール地点、ルート確認
- ごみ拾い用トング／ごみ袋／BINGO用紙／ペン
- 当日スタッフ／会場、ごみ拾い引率
- 舞台設営、ゴミステーション設置、ワークショップ場所
- 飲食スペース確保／テーブル、椅子設置
- MEGLOOの手配

予算

No	明細	小計
1	フライヤー／ポスター印刷、デザイン料	¥ 30,000
2	会場レンタル	¥ 18,000
3	ゲスト出演料	¥ 100,000
4	映画上映権	¥ 32,000
5	ゴミ袋、トング、軍手	¥ 10,000
6	MEGLOOレンタル料	¥ 10,000
合計		¥ 200,000

〔*2〕 会場レンタル料：大山街道ふるさと館

イベントホール、和室、第1・第2会議室合併の全日利用／土日料金を合計

〔*4〕 映画上映料：200\$ 1\$=160円想定

〔*6〕 megloo食器内訳：どんぶり（1000ml）カップ（440ml）を各100個想定

各会場のタイムテーブル

時間	ごみ拾い（南公園）	メインステージ（１F屋外）	展示室（３F会議室）	イベントホール（２F）	
09:30		会場準備	展示・ワークショップ準備		
10:00					
10:30	集合、説明				
11:00	再集合、イベント実施				
11:30	11:40終了予定		●街ごみと海ごみの関係 展示・解説 ●ウミガメ誤食 展示・解説 ●ビーズストラップ作り ワークショップ開催		
12:00		紙芝居パフォーマンス		上映準備 プロジェクター確認 音響・映像確認 椅子設置	
12:30		12:40～ゴミ拾い集計発表			
13:00		13:10～街・海ごみのお話			
13:30		13:40～環境クイズのお話			
14:00					
14:30				14:45～佐竹監督挨拶	
15:00				マイクロプラスチック ストーリー 上映(76分)	
15:30					
16:00					
16:30	終了、片付け				

ご清聴いただき
ありがとうございました

企画への意気込み

このままいくと、2050年には海洋プラスチックごみの重量が海に泳ぐ魚の重量を超えと言われています。そんな負の遺産を子どもたちに残せないという想いが、私の原動力となっています。街に住むと、自然環境と接する機会が少ない事もあり、環境汚染はどこか遠い場所での出来事のように思いがちです。しかし、海に流れ出るプラスチックごみの約8割は内陸の街から発生したものです。私たちの生活は海洋汚染に大きく影響しています。今、大人達が何を知り、選択し、どう行動していくのか、そして子どもたちに何を伝えていくのか、それによって26年後の海の状況は変わります。とにかく、難しく考えがちな問題ですが、今回のイベントが楽しみながら環境問題に触れられる場所、そして何かの発見や気づきのうまれる場所になればいいと思っています。

これまでの実績等（個人・団体）

2018年より、ビーチクリーンやリバークリーン、街のごみ拾い活動を始め。環境問題や海洋プラスチックごみの勉強会等への参加を通して、海洋プラスチックごみを周知したいという想いから、アクセサリー制作とワークショップを展開する「umipla/うみぷら」の活動を開始。楽しみながら環境問題に触れられるワークショップを都内を中心に開催している。